

極寒の川で身を清める 松葉・相内の裸参り

地区の無火災を祈願する「松葉・相内の裸参り」が、2月21日、8人が参加し行われました。

参加者は、桧木内川の清流で身を清め、わらで編んだ「けんだい」を腰につけ、白足袋にわらじ履きで、沿道からの声援を受けながら、かけ声勇ましく集落内を走り、一気に旭山を駆け登りました。

金比羅宮では、けんだいと結びひもを切ったわらじを神木に結わえつけ、無火災を祈願しました。



冬の夜を彩る炎の輪 角館の火振りかまくら

角館町の小正月行事「角館の火振りかまくら」が2月13日に桧木内川沿いの桜並木駐車場を会場に、14日は角館町内30数カ所で行われ、夜空を焦がすようにいくつもの炎の輪が浮かび上がりました。

400年以上の伝統を持つ「火振りかまくら」は、縄のついた炭俵に火をつけ自分の身体の周りを回し、田んぼの厄を祓うとともに五穀豊穡、無病息災、家内安全を祈願する伝統行事です。

天候にも恵まれて、土、日のため多くの見物客が集まり、飛び入りで観光客らも火振りかまくらを体験しました。炎の迫力に驚き怖がる人や、興奮しながら何度もチャレンジする人などいました。

